

## バナナからみるグローバリズム

FoE Japan 松本 光

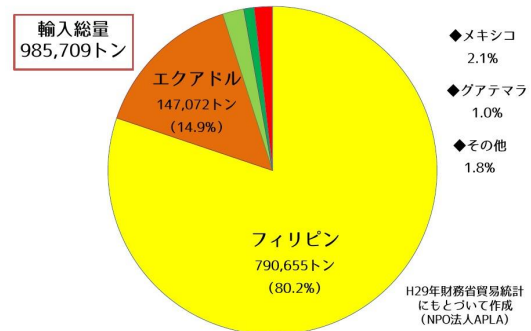
Email: matsumoto@foejapan.org

### バナナの基本情報（バナナとは、消費状況）

外務省ウェブサイト (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/banana.html>)

日本バナナ輸入組合 (<https://www.banana.co.jp/>)

日本のバナナ輸入量・国別（2017年）



### バナナと多様性

- 紀元前5千年~1万年ごろ、偶然できた種のないバナナの苗を、人間が栽培化したのが、現在のバナナの始まり（日本バナナ輸入組合）
- バナナの多くは、コウモリによって受粉し、個体は種子を結ぶ。（Dunn, 2018）
- 栽培化の過程で、バナナは、吸枝（サッカー）と呼ばれる根の一片（あるいは新芽）で株分けをする。
- この方法は、授粉し、花が種子を結ぶよりはるかに容易。
- 時の経過とともに、種のない品種が進化。
- バナナの主要品種のほぼすべては、互いにクローンと化している。

### クローンバナナ

- 日本のバナナのほとんどがキャベンディッシュで、クローン→多様性ゼロ
- バナナは地球上で最大の集合的有機体
- 一見経済的で効率的

### クローンバナナの問題点

- 19世紀末、ホンジュラスの一部で、パナマ病により、3万エーカー（東京ドーム2608個分）のバナナプランテーションが放棄
- 同じ遺伝子なので、パナマ病のように病気が一気に広がる可能性がある
- 多量の農薬が使用される
- 農業に対するテロの可能性→安全保障

### 世界におけるカロリー消費の割合

- 動物性食物を除く世界におけるカロリー消費の割合のほとんどは20種類ほどで占められている
- バナナも含まれる

IPBES summery

<https://ipbes.net/>

## 健康・環境被害

失明、皮膚炎、アレルギー、腹痛、高熱など

『甘いバナナの苦い現実』アジア太平洋資料センター制作／2018

[http://www.parc-jp.org/video/sakuhin/banana\\_new.html](http://www.parc-jp.org/video/sakuhin/banana_new.html)

『毒の雨』フィリピンの NGO、IDIS 制作／2016

[https://youtu.be/d\\_24-TUKkdA](https://youtu.be/d_24-TUKkdA)

『バナナの逆襲』

監督：フレドリック・ゲルテン、[第1話 2009年・87分] [第2話 2011年・87分]

<https://kiroku-bito.com/2bananas/trailer.html>

## バナナと日本人（1982年）

- ・ グローバリズムの中の大企業を批判
- ・ バナナプランテーションができるまでの土台（戦前から麻のプランテーションがあり、それがバナナプランテーションに取って代わった）
- ・ 危険な農薬散布
- ・ パキアオ制度（歩合制度）の問題提起

## 最近の動き（裁判／組合の結成）

- ・ 2008年3月14日、フィリピン・ミンダナオ島コンポステラバレー州のバナナ梱包工場90で働く労働者らが交渉代表として労働組合「Nagkahiusang Mamumuo Sa Suyapa Farm／NAMASUFA」を結成すべくフィリピン労働雇用省(DOLE)に「組合代表選挙意請願(PCE)」を提出する
- ・ 2017年6月の最高裁判決で労働組合 NAMASUFA がスミフルフィリピンの正当な労働組合と認める

## ストライキへ

- ・ NAMASUFA が団体交渉などを持ちかけるも、スミフル側は無視
- ・ 2018年10月1日からストライキを開始
- ・ 相次ぐ銃撃・放火・暴力事件で死傷者

## 相次ぐ脅迫

- ・ 2018年10月11日、ストライキを継続してピケを張る労働者らに対し、フィリピン国軍・警察のスト鎮圧部隊が派遣され、スト破りの労働者なども加わってストライキ拠点を暴力的に破壊する。この鎮圧部隊の暴力行為によって17名以上の労働者らが負傷する（内出血・吐血など）
- ・ 2018年10月31日、NAMASUFA の組合員の一人で梱包工場340の労働者であった Danny Boy Bautista 氏が、18時ごろに所属不明の男2名に銃撃され、死亡した

※最近の動きの詳細はエシカルバナナキャンペーンのホームページへ

<https://www.e-banana.info/>

## 2018年12月に現地調査へ

首都マニラ

ミンダナオ島コンポステラバレー州

### コンポステラバレー州

- ・ スミフルのバナナプランテーション
  - ・ 約2200ヘクタールのバナナ農園（東京ドーム470個分）
- ・ 9つの梱包工場
  - ・ 毎日19000箱（約260トン）以上のバナナが出荷

### 聞き取り（労働問題）

- ・ 多くの個別の事例（大きく分けて、梱包工場と農園労働者）
- ・ 契約の問題
  - ・ 契約のコピーをもらえない事例
  - ・ 契約は結果的にバナナの買取価格を23年間（1994-2017）も据置きを可能にするという証言
  - ・ ノルマを達成できず、『介入契約（Intervention Contract）』を結ばされ、多額の借金をかかえる
- ・ 長時間労働、『集中労働日制（Compressed work week）』の悪用
- ・ 多くの人々が皮膚病をはじめ、腹痛、高熱、アレルギーを訴えており、防具も十分に支給されなかった

※詳しくはFoE Japan ブログ（2019年1月9日）

「住友商事・スミフルは今すぐ対応を！血に染まるバナナー現場からの緊急報告」

<https://foejapan.wordpress.com/2019/01/09/sumifrubanana/>

### 介入契約（Intervention Contract）

農園労働者がノルマを達成できなかった場合、一定の期間（10年）が経つと、土地を接収することができる。そのため、バナナ農園を続け、さらに土地代を支払わなければならなくなる

### 集中労働日制（Compressed work week）

- ・ 週に6日48時間働く代わりに、週に3日36時間ないし4日で48時間働くというもの。そうすると1日12時間までが日払い（365ペソ＝約767円）となり、残業代（1時間あたり52ペソ＝約109円）は12時間労働した後に払われる。
- ・ ただでさえ賃金が低いため、労働者は残業をあてにすることが多い。この制度により、残業代がもらいにくくなる。
- ・ ただし、この制度は見直しをしている模様

### 企業側の対応

- ・ 2018年11月、2019年2月に要請書提出するもスミフル側は反応なし
- ・ 2019年1月4日にDOLE監督下スミフルフィリピンとNAMASUFAと間で交渉決裂、その後はスミフルフィリピンに何度も延期を余儀なくされ、交渉は実現できていない。
- ・ 2018年12月、2019年5月に大口株主である住友商事と会合
  - ・ 12月ではマイノリティを強調、5月ではNAMASUFAの正当性について議論
- ・ 2019年4月、5月イオンと会合。2019年11月コンポステラバレー州から撤退。ただし、

ミンダナオの他の地域のスマフルバナナを輸入

- ・ イオンは『甘みさわやかバナナ』などトップバリュブランドで販売

## 現状

- ・ 2019年6月、スマフルの労働者が来日
  - ・ イオンと面会
  - ・ FCCJで記者会見（会見の様相→<https://youtu.be/-8loKXTvQOM>）
- ・ 2019年7月末、行政側（DOLEの国家労使関係委員会）が労働者を復職させるようスマフルに「行政指導」をする
- ・ しかし、スマフルはこれを無視
- ・ 行政指導は一時差し止めに
- ・ 裁判に持ち込まれており、早期の解決は見込めない

## スマフルについて

- ・ 2011年、社名を「住商フルーツ（株）」から「（株）スマフル」に変更（4月）
- ・ 2016年、吸収分割により、（株）スマフルの全事業を（株）スマフルジャパンに継承（4月）、住友商事が51%のスマフル株を保有
- ・ 2019年6月、Thornton Ventures Limited（以下、TVL社）とSumitomo Corporationは、Sumifru Singapore Pte. Ltd.（以下、スマフル）における合弁を終了することに合意。TVL社は住友商事からスマフルの49%の株式を取得へ
- ・ 新自由主義、グローバリズム、資本主義の元、資本関係が複雑化

## 超法規的殺害

- ・ 土地・環境擁護者（The land and environmental defenders）の犠牲者がフィリピンで48人（Global Witness, 2018）
- ・ 超法規的殺害（extra-judicial killing）が2016年6月～2018年12月にかけて、フィリピンで338人（Karapatan, 2018）

<https://www.globalwitness.org/en/>

<https://www.karapatan.org/>

